

学科 学年	C3	科目 分類	総合英語 B (General English B)	講義 必修	半期毎 2単位	学習教育 目標 C・D	担当	村上真理 MURAKAMI Mari
概要	英語が国際語として、また異文化間の情報伝達手段の道具としての地位を確立していることを意識し、既習済みの文型や語彙、語法や発音を土台に英語運用能力を向上させてゆくものとなっている。現代英語の言語感覚を持った小説家や随筆家、科学者による小説やエッセイを扱い、そこに現れる文構造や慣用表現の理解に努めるとともに、現代社会や異なる文化に対する深い洞察力や理解力を培う。また優れた英語で書かれた文章は訳すためだけにあるのではなく、声に出して読むことで英文を書いたり英語で話す力も養われるということを強調して学習を進める。TOEIC試験の受験を視野に入れた文法演習、語彙練習、リスニング訓練も行ってゆく。							
科目目標 (到達目標)	平明で美しい英語の文章に触れて英語への関心を高めること。そしてリーディングを基礎にしてライティング、さらにはスピーキングやリスニング能力を養成すること。テキストに書かれた注記に疑問があれば辞書で徹底的に調べる意欲を持つこと。またイディオムなどの日本語表現については英和辞典の訳語に満足しないで、国語辞典をあたって適切な日本語表現を探す積極性が望まれる。							
教科書 器材等	A NEW COLLECTION FROM CONTEMPORARY WRITERS 西田実編著 成美堂、配布プリント、							
評価の基準と 方法	定期試験の平均成績を70%、課題・授業への積極的姿勢を30%として総合的に評価する。60点以上を合格とする。							
関連科目	総合英語							
授業計画								
	第1回 文化 (Americans and Smoking) 第2回 比較 第3回 イギリス事情 (Running in Public) 第4回 形容詞・副詞 第5回 アメリカ事情 (The American Family) 第6回 名詞・冠詞 第7回 処世訓 (How to Win Friends) 第8回 定期試験 第9回 接続詞 第10回 思想 (Death and Eternity) 第11回 否定 第12回 哲学 (Philosophy and I) 第13回 英文法のまとめ 第14回 アメリカ事情 (The American Sunday) 第15回 定期試験							
オフィス アワー	木曜日午後							
備考								